

宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年 生徒質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思う」と回答している生徒の割合は79.0%で、全国平均と県平均を上回っている。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答している生徒の割合は8割以上である。

○「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」と回答している生徒の割合は97.9%で、全国平均と県平均を上回っている。

○「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と回答している生徒の割合は78.9%で、全国平均と県平均を上回っている。

○「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答している生徒の割合は94.2%で高い。

自己肯定感が高く、多くのことに挑戦しながら最後までものごとをやり遂げようと努力している生徒が多くいることがわかる。また、将来人の役に立ちたいと考えている生徒も多い。これからも学校生活を通して達成することの大切さを実感させることで、物事に粘り強く取り組める生徒を育てていきたい。

○「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した生徒の割合は59.4%で、全国平均と県平均を上回っている。

●「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む)」の質問では、3時間以上と回答した生徒の割合は6.3%で全国平均と県平均を下回っており、逆に1時間より少ないと回答した生徒の割合は24.2%と全国平均と県平均を上回っている。

普段、学校の授業時間以外で全く勉強をしない生徒の割合は少ないが、相対的に勉強時間は少ないといえる。各教科で、毎日適度な宿題を出すなどの工夫をし、今後はその質と量を改善していく必要がある。

○「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う」と回答している生徒の割合は81.6%で、全国平均と県平均を上回っている。

○「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う」と回答している生徒の割合は76.3%で、全国平均と県平均を上回っている。

学級生活をよりよくするためお互いに意見を出し合い、学級生活で自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる姿がうかがえる。今後もそうした話し合いの場を設け、継続して努力することで学級生活をさらに向上させたい。

宇都宮市立鬼怒中学校 (第3学年)
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
○学力向上を図るため、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化、基礎・基本の定着度を高める。	○基礎的な力を身に付けさせるための夏休みや放課後を利用した補充学習の実施 ○教員の授業力向上を目指した一人一授業 ○教員の授業研究会の持ち方の充実	○「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答している生徒の割合は、全国平均と県平均を上回っている。 ○「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」「人の役に立つ人間になりたい」に対する肯定率は全国・県を上回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
○「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問では、勉強時間が全国・県の平均を下回り全体的に勉強時間が少ない。	○家庭学習の仕方の具体的な指導。	○各教科で、毎日適度な宿題を出したり、効果的な学習の仕方を具体的に授業で指導したりすることにより、家庭学習に意欲的に取り組ませるとともに、学習内容の質と量を改善するなどの工夫をしていく。